

令和4年度 第2回うつのみや産業振興協議会 議事録（要旨）

1 日 時 令和4年10月17日（月） 午前10時30分～正午

2 場 所 宇都宮市役所14階 14A会議室

3 議 事 「うつのみや産業振興ビジョン」の中間見直しについて

- ・ 本市が目指す産業発展の姿について
- ・ 5つの施策の柱ごとの施策展開等について

4 出席者委員

- ・ 株式会社ファーマーズ・フォレスト 田代委員代理
- ・ 株式会社ジェイテクトファインテック 印南委員
- ・ 株式会社オニックスジャパン 大西委員
- ・ キヤノン株式会社 石川委員
- ・ 株式会社SUBARU 航空宇宙カンパニー 羽野委員
- ・ 株式会社東武宇都宮百貨店 守委員
- ・ 東日本電信電話株式会社 栃木支店 小林委員
- ・ 特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構 須賀委員<会長>
- ・ 宇都宮商工会議所 小関委員<副会長>
- ・ 公益財団法人栃木県産業振興センター 坂入委員
- ・ 株式会社あしぎん総合研究所 豊田委員
- ・ 国立大学法人宇都宮大学 高山委員
- ・ 栃木労働局 左藤委員
- ・ 宇都宮市経済部 笹野委員 (順不同)

5 主な御意見

(1) 「施策の柱1 本市産業を発展させる新事業、成長産業の振興」について

- ・ 起業家への支援はとても重要であると考え。積極的な取組を期待するとともに、ビジョンの記載も厚くしていただきたい。
- ・ 施策1の主要な取組例について、「新技術・新商品」という表現があるが、宇都宮市ならではの製品やサービスであるなど、市としての特色をPRできるような表現を検討していただきたい。
- ・ 企業が社会経済環境の変化に的確に対応できるよう、中小企業などを始めとして、企業の業態転換や新分野への対応について積極的に検討していただきたい。
- ・ 自動車産業の再編が進んでおり、内燃機関に用いられる技術等については、技術力を転用することで活路を開きたいはずであり、技術を持ったサプライヤーに対し、ニーズを紹介するような仕組みを検討するとよいと考える。

(2) 「施策の柱2 産業集積を高める企業の立地・定着の促進」について

- ・ 本市の立地は情報関連企業が集積している東京から100kmと、DXの推進に有利な土地であることから、優遇税制や助成金などの具体的な支援策を整備することで大都市圏の企業に積極的にアプローチしていただきたい。

(3) 「施策の柱3 本市産業を支える中小・小規模企業、地場産業等の振興」について

- ・ 少子高齢化の中で、いかに域外から需要を取り込み、消費量を拡大させていくか検討する必要があると考えている。宇都宮駅東口の開発でひとが集まってくることを活かして、点ではなく宿泊も含めた消費の拡大に繋がれるとよい。
- ・ DXを進めるためには、組織全体がデジタル技術を活用できるように、必要なスキルを獲得するリスキリングに取り組むことが重要であると考え。
- ・ デジタル化の効果やコストが見えにくいいため、DXに取り組むことに躊躇する企業が多いと聞いている。新しいシステム等を導入するのではなく、既存のサービスのシェアなど、デジタル導入に当たっての敷居を下げるということが重要であると考えている。

(4) 「施策の柱4 地域資源を最大限に活かす産業の総合力の向上」について

- ・ ジャパンカップサイクルロードレース等の県外からの若者が多く来場するイベントを、宇都宮への移住を検討するチャンスとして、活かす方法を検討したほうがよいと思われる。
- ・ MICEをどのように産業活性化に結び付けていけるか具体的に検討する必要がある。
- ・ 市のコンテンツ（大谷やジャパンカップサイクルロードレース等）を有機的に結び付け、ネットワーク化することで来訪者を周遊させるため、人流を可視化するデジタルツール等があると効果的なプロモーションができると思われる。
- ・ 農産物を海外に輸送することにおいて、配送技術に課題があるが、東アジア圏への輸出が増加しているため、地産地消の取組は継続しながらも、新しいマーケットの開拓に取り組む必要があると考える。

(5) 「施策の柱5 産業活動の源となる人材の確保と育成」について

- ・ 新型コロナウイルス感染症を受けての業績低迷からの回復期にあつて、人材の確保に苦慮している。市としてどのような人材を求めるかなど、人材を切り口とした表現を強めるなど検討していただきたい。
- ・ 人材の確保については、「未来志向のある人材」や「向上心のある人材」、「相互に高めあえる人材など」どんな人材が必要かを具体的に記載できるとよいのではないかと考える。
- ・ 地元の学生は大手志向が強いため求人を出しても応募が少なく、また採用しても長続きしない。そのため中途採用が必須であり、採用後の教育にも力を入れ戦力の確保を図っている。
- ・ リスキリングの重要性が大きく増しており、ビジョンへの記載を検討してもらいたい。
- ・ 定年退職者の中でも知識やノウハウを活かしたいと考えている人が多くいるため、シニア世代の持つスキルとニーズとをマッチングさせて新分野に活かす施策を検討していただきたい。
- ・ 人材確保・育成について、一度異なる企業へ出向し、自社との違いを経験し学ぶことで、個人のスキルアップに繋がるような機会があるとよいと考えている。
- ・ 宇都宮市の地域課題を改善したい意欲のある学生に、在学中から中小企業と係る場を提供し、実際に体験しながら企業を知る機会があると、学生にとっても良い経験になると思われる。